

## 【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	寝屋川市家庭教育サポートチーム
活動開始年度	平成15年度
活動拠点	寝屋川市立12中学校区内15小学校(28年度)
活動範囲	寝屋川市内全域
活動財源	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携協力推進事業) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ( )
組織体制	16 人 家庭教育サポーター15人 家庭教育アドバイザー1人
具体的な活動内容	拠点小学校へ配置。担任をはじめ教職員と連携し、児童の登校状況を把握。不登校傾向を持つ児童の登校支援や保護者との連絡調整。子ども・保護者・学校との良好な関係づくりを果たし、家庭の健全化を図ることにより、青少年の健全育成を推進している。 保護者の悩みの軽減により、児童の虐待予防にもつなげている。
活動を通して感じていること (成果、課題など)	当市の家庭教育サポーターは、学校に配置されているため、児童の登校状況を把握しやすく、家庭訪問などをし、登校の支援を続けている。結果として、登校状況の改善がみられる。また、児童の背景にある家庭環境をつかみ、学校と連携しながら改善に向けて取り組みを進めている。家庭教育サポーターが、保護者の話を聴き、思いに寄り添う事により不安や悩みが軽減されて、児童や学校との関係も良好になってくる。 一方で、家庭の抱える問題は多岐多様化しているため、家庭の教育支援だけでなく、生活面の支援(福祉的な支援)を必要としている現状がある為、教育と福祉の連携を始めたところである。